

平成25年度事業報告

1. 会館の財政運営について

- (1) 会館の基本資金である会館建設基金（出資金）については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。また、平成25年度から定年で退職される方には3月に出資金の返済を行うことにしましたので、出資金の返済は、退職による返済が608人、6,294,000円でした。この結果出資金の残額は93,701,000円となりました。平成25年度末の若年退職者は、164名（小中122名、県立42名）と大幅に増えています。定年退職者297名（小中175名、県立122名）と若年退職者を合わせた総数は、461名（小中297名、県立164名）でした。出資金の寄付の申し出はありませんでした。 決算報告書 P10

《会館建設基金・出資状況 平成21～25年度 5年間の推移（円）》

平成	出資額	返済額	出資残額
21年度	12,000	3,342,000	111,743,000
22年度	0	3,822,000	107,921,000
23年度	0	3,660,000	104,261,000
24年度	0	4,266,000	99,995,000
25年度	0	6,294,000	93,701,000

- (2) 地代家賃は、100%納入されています。

- (3) 会議室貸料は、前年と比べ約12%の増となりました。ただ前年が低いレベルにあり、今後も活用を図っていく必要があります。 決算報告書 P11

《会議室・利用状況 平成21～25年度 5年間の推移》

平成	出資者		一般		計		対前年	対21年度
	件数(件)	貸料(円)	件数(件)	貸料(円)	件数(件)	貸料(円)	貸料(%)	貸料(%)
21年度	216	1,878,218	192	4,333,035	408	6,211,253	95	100
22年度	172	1,293,363	154	3,511,205	326	4,804,568	77	77
23年度	188	1,685,366	223	4,453,059	411	6,138,425	128	98
24年度	176	1,228,132	166	3,576,948	342	4,805,080	78	77
25年度	220	1,682,415	175	3,699,983	395	5,382,398	112	87

- (4) 会館共済事業の集束手数料は約3,000万円と安定しています。また教育会館の特別給付金は、申請期間の3年間延長が落ち着いてきたのか、年間給付額がかなり少なくなりました。 決算報告書 P14

《特別給付金・給付状況 平成21～25年度 5年間の推移（円）》

平成	出産祝金	休職見舞金	入院見舞金	退職祝金	満期祝金	医療プラン	合計
21年度	1,547,000	1,200,000	5,773,000	1,010,000	0	4,309,000	13,839,000
22年度	1,701,000	1,150,000	5,708,000	1,290,000	0	3,739,000	13,588,000
23年度	1,732,000	1,500,000	5,367,000	1,200,000	0	4,253,000	14,052,000
24年度	1,525,000	900,000	5,992,000	1,160,000	0	4,853,000	14,430,000
25年度	1,453,000	550,000	4,364,000	1,150,000	0	3,873,000	11,390,000

- (5) 各種引当は、会館共済30次記念キャンペーンのために記念事業準備500万円を取り崩しました。出資金返済は平成25年度から定年退職される方には3月に返済を行うことにしたので増額はしていません。

《各種引当・状況 平成21～25年度 5年間の推移（万円）》

平成	基本財産 減価償却	建物修繕	特別給付 準備	記念事業 準備	計	出資金 返済	退職給与	引当金 総計	繰越金	現預金 総計
21年度	9,271	4,700	4,802	577	19,351	2,300	1,170	22,820	2,654	25,478

22年度	10,017	3,500	4,802	789	19,110	2,700	1,370	23,178	1,924	25,105
23年度	10,783	3,300	4,802	989	19,876	2,900	372	23,146	3,416	26,563
24年度	11,549	3,800	4,802	1,089	21,241	3,200	473	24,914	2,287	27,203
25年度	12,314	3,900	4,802	589	21,607	3,200	522	25,330	1,783	27,113

*引当金の計上基準は次の通りです。

- ・基本財産減価償却引当 当期末の基本財産の減価償却額を引当
- ・特別給付準備引当 特別給付金の1年間の給付額の過去最高額の3倍を引当
- ・出資金返済引当 出資金残額の半額を目指して引当
- ・建物修繕引当 基本財産4億2,400万円の20パーセントを目指して引当
- ・記念事業準備引当 5年ごとの記念事業の資金1,000万円を5年間で引当
- ・退職給与引当 当期末の退職給与債務を引当

(6) 会計処理は「区分経理」により「継続事業（公益目的事業）」の適正な執行が必要です。そのため、ユース会計社（吉永公認会計士事務所）との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めました。また会員管理や収納方法の合理化について、コープ熊本と県教職員組合、教育会館の3者で熊本県教職員厚生情報センターを設立しました。

2. 管理業務について

- (1) 夜間や休日の管理警備は、3名の職員が交替制で勤務し、会館を常時使用できるようにしています。会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間でした。
- (2) 安全管理及び設備・備品の保守については、保守契約を次のように行っています。

No	内 容	委 託 先	委 託 料
1	火災保険	共栄火災	保障 6億4,756万8千円 年掛金 254,350円
2	清掃管理	日本ビル管理	月 260,280円 × 12 エアコン 59,400円 × 2 ガラス 81,000円 × 1 年 3,323,160円
3	塵芥収集	熊本清掃社	月 24,624円 年 295,488円
4	エレベーター保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 61,560円 × 12 年 738,720円
5	防犯カメラ保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 30,240円 × 12 年 362,880円
6	自動ドア保守	熊本ナブコ(株)	年 216,000円
7	電話保守	NTT西日本	リース料月 58,632円 × 12 年 703,584円
	電話保守 (センター)	NTT西日本	リース料月 8,160円 × 12 年 97,920円
8	電設保守	藤本義美	月 28,000円 × 12 年 336,000円
9	電気メーター交換	九州計装 エンジニアリング	15年交換 546,000円 1年当たり 36,400円
10	消防設備保守	ユージー防災設備	半年 249,480円 × 2 498,960円
11	空調設備	パナソニック	発生時払い
12	ロスナイ	空研工業	発生時払い
13	会計処理	ユース会計社	月 50,760円 × 12 年 609,120円
14	複写機リース	リコーリース	月 12,960円 × 12

			年 155,520円
	複写機リース (セター)	リコーリース	月 8,532円×12 年 102,384円
15	浄水器リース	日本トリム 三菱UFJリース	リース満了により買い取り 1,080円
16	ホームページ管理	(有)オフィスウェブラン	年 282,420円
17	AED保守 パッドカートリッジ バッテリー	総合警備保障	年 30,240円 次期交換 2015年9月 次期交換 2017年7月
計			年間保守委託料 8,044,226円

(3) 災害の未然防止と万一の災害に備えるため、年2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、災害発生時の避難訓練を実施しました。

第1回目の避難訓練は、5月30日に「白川校区5・7町内と合同避難訓練」として実施しました。「災害時の一時避難場所提供における施設利用に関する協定書」を地域自治会と締結し、継続的な訓練を実施していくことの第2回目の実施になります。また熊本市中央消防署にも協力いただき、AEDの使い方の講習会も行いました。

第2回目の避難訓練は、11月21日に火災発生による避難訓練と、本物の消火器を使い、火災発生時の初期消火のための訓練を実施しました。

また専門業者（ユージー防災設備）による消防設備の点検を9月27日と3月3日の年2回実施しました。

(4) 建物の保守関係としては、立体駐車場のボルトの緩み対策は4月発注を行い、7月にボルト溶接工事を行いました。1階トイレ下ピットの漏水は毎月の点検とポンプにて汲み出しを行っています。

大規模改修については、「第1回大規模改修委員会」を2月28日に開催し、空調、駐車場の補修、省エネ型水光熱設備の導入等の中長期的な検討を始めました。1階事務局と5階会議室（ホール）のLED化を行いました。

(5) 「教育会館ニュース」を2回（7月、12月）発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。

(6) 小中学校教職員を主な対象として、平成25年10月1日に、ユープ熊本学校生活協同組合、熊本県教職員組合とともに「熊本県教職員厚生情報センター」を設立しました。法令遵守に基づく個人情報等の適正管理及び運用体制を構築することや「ワンストップ」対応による教職員の福利厚生の向上を図ることを目的にしたものです。平成26年3月より本格稼働し、請求書発行及び利用代金の収納を始めました。

3. 福祉共済事業について

(1) 会館共済I型『遺族生活給付金共済』『医療プラン』『介護プラン』

発足29年目を迎えた会館共済は、新規加入者が279名で加入者総数が11,457名となりました。前年より599名の減でした。『遺族生活給付金共済（生命保障）』に付加する『医療プラン』は、発足後12年間加入者が増加し続けていましたが、平成24年度より2年続けて減少となりました。昨年度より189名減の5,558名となりました。

導入3年目の『介護プラン』は、昨年度2,498名から573名増の3,071名となりました。

加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成24共済年度（平成24年9月1日～平成25年8月31日）は、死亡12人（前年度19人）で給付総額は1億3500万円（同2億600万円）でした。また、医療プランの給付は182件（同193件）で給付総額は1688万2000円（同1729万7000円）でした。医療給付は概ね安定しています。

会館の特別給付金（会計年度、平成25年4月1日～平成26年3月31日）は申請期間を3年間に延長して4年目となりました。特別給付金は、申請期間を3年間延長が落ちてきたのか、年間給付額がかなり少なくなりました。また非常準備基金として4800万円引き当てています。給付状況の対前年比較は下記のとおりです。

《死亡・高度障害及び入院給付金 平成20～24共済年度（9～8月） 5年間の推移》

*13年度 16(件) 204,000,000(円)

平成	死亡・高度障害 給付		入院 給付	
	件数(件)	給付額(円)	件数(件)	給付額(円)
20年度	8	130,000,000	184	13,512,000
21年度	13	193,000,000	190	14,599,000
22年度	12	160,000,000	193	16,150,000
23年度	19	206,000,000	193	17,297,000
24年度	12	135,000,000	182	16,882,000

《特別給付金の給付状況 平成25年4月1日～平成26年3月31日》

NO	内 容	給付件数	前 年
1	入院見舞金	5日以上	248件
		30日以上	28件
		60日以上	18件
2	医療プラン・初期入院(1日～4日)	195件	230件
3	退職見舞金	11件	15件
4	出産祝金	118件	119件
5	退職祝金	115件	116件
6	満期祝品	0件	0件
	給付 総件数	733件	857件
	給付 総額	11,390,000円	14,430,000円

(2) 会館共済Ⅱ型(貯蓄型生涯保障共済)

新規加入者は10名、退職等により59名の減で加入者総数は861名(前年度910名)になりました。

(3) 傷害プラン

第22次より導入した『傷害プラン』の新規加入者はなく、加入者総数は127名(前年度135名)となりました。

(4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5) 共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会で検討を行いました。30次キャンペーンに向けて、再任用の義務化に向けてのことも考慮して在職中の方は65歳6カ月まで新規加入を可能にしました。また特別給付金についても出産祝金を誕生祝金にリニューアルし、医療プランの日帰り入院を保障する制度の導入を行います。

4. 教育文化事業について

(1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの25年間で県内のべ531校に寄贈しました。今年度も寄贈校25校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は3,180万円です。

平成25年度の寄贈校は下記のとおりです。

《寄贈校》 小中学校19校(内 重点校1校) 県立学校6校(重点校6校)

地区	寄贈校	○は重点校1年目	◎は重点校2年目
荒尾玉名	玉東中		
鹿本	千田小	鹿北中	
菊池	◎西合志東小	泗水中	

阿蘇	りんどうヶ丘小	内牧小	
熊本	銭塘小	奥古閑小	
上益城	潤徳小	中島小	七滝中央小
宇城	砥用小		
八代	東陽小	八竜小	
人吉球磨	五木東小		
水俣芦北	緑東中		
天草	本渡東小	牛深東中	
県立学校	◎熊本農業高校 ○鹿本商工高校	◎南稜高校 ○菊池農業高校	◎鹿本農業高校 ○小川工業高校

(2) 教育会館寄席

『会館共済第25次キャンペーン企画』として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行ってほしいという声から、教育会館寄席・学校寄席を開催して4年目になりました。「会館ニュース」や「ホームページ」にて公募し、3つの学校で10月22日～24日に開催しました。最終日に、開催校3校の代表者と柳亭左龍師匠はじめ出演者との反省会を開催し、教育会館が目指す学校寄席について意見交換を行いました。

《開催日時と開催校》

- ・10月22日（火）嘉島町立嘉島西小学校
- ・10月23日（水）芦北町立吉尾小学校
- ・10月24日（木）上天草市立龍ヶ岳中学校

(3) 熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部との共催事業

熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、月1回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。

2月23日(日)には熊本県かるた協会主催の「第26回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり熱戦を繰り上げました。

(4) 教育会館アートのひろば

会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より『教育会館アートのひろば』を開催しています。熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。

第7期（平成24年10月～25年5月）

- ・1月期は、大塚浩平氏（嘉島町）の水彩画展
- ・2月期は、日本画教室展
- ・3月期は、平岡尚子氏（天草市）の油彩画展
- ・4月期は、岡田繁忠氏（熊本市）の油彩画展
- ・5月期は、村田紀美子氏（熊本市）の水彩画展

第8期（平成25年10月～26年5月）

- ・10月期は、徳永喜美氏（熊本市）の水墨画展
- ・11月期は、小島憲二郎氏（水俣市）の日本画展
- ・12月期は、平岡博幸氏（宇城市）の油彩画展
- ・1月期は、村中妙子氏（熊本市）の油彩画展
- ・2月期は、三浦和昭氏（美里町）の油彩画展
- ・3月期は、長嶋康雄氏（熊本市）の油彩画展
- ・4月期は、山下多恵子氏ほか7名（天草市）の油彩画展
- ・5月期は、古賀義文氏（南関町）の水彩画、油彩画展

(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス『こころゆったりヒーリングセミナー』を8月2日（金）に教育会館で開催し、熊本県臨床心理士会会長の浦野エイミ先生のご講演「こころ豊かにコミュニケーション」と昼食でゆっくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援『カムバックセミナー』を11月19日（火）に火の国ハイツで開催しました。県教育委員会学校人事課の田代参事と徳川参事のご講演「育児等に関する諸制度の活用について」と教育政策課福利厚生室の重松主事のご講演「共済組合の事業概要と育児休業等に関する諸手続きについて」の

後ティータイムを楽しんでもらいました。参加者は54名で、託児は50名でした。またその中からの要望があり始めました「パパママ広場」も月1回開催が定着し好評を得ています。

また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人『ハートライン』（現在は事務局の都合により休止中）を支援するとともに、教職員向けの電話相談室『レモングラス』を毎週火曜日に開設しています。